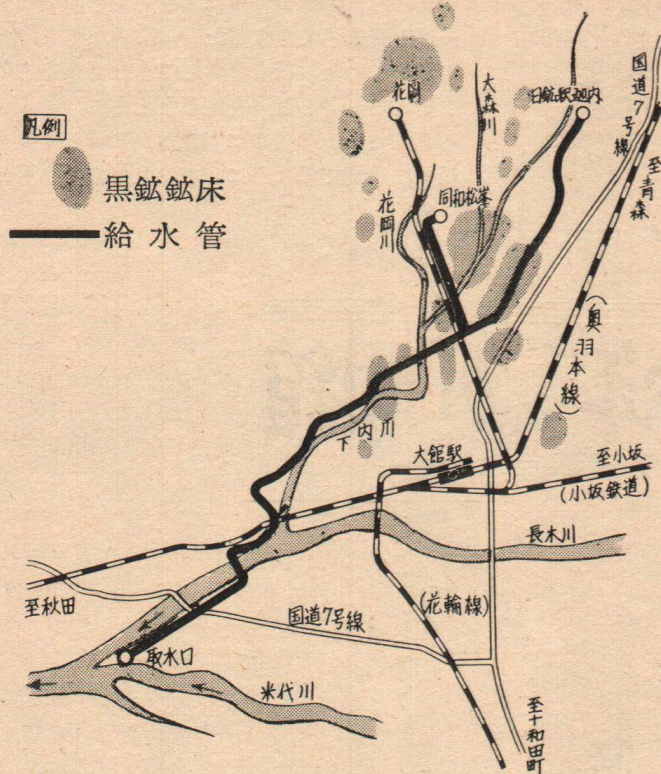


1日3万トンの給水をめざして

鉱業用水の配管工事進む



6,000万トン以上の黒鉱が埋蔵されているといわれる市内の銅鉱床開発も軌道にのりだし、すでに日本鉱業では月産15,000トンの操業に入っています。

一方、同和鉱業でも、この10月から月産20,000トンの採掘に入るため、現在選鉱場の建設が急ピッチに進められており、黒鉱開発もこれから本格的な生産段階まで進められてきました。

このように各社とも生産段階に入った現在、選鉱の際には採鉱粗鉱1トン当り6～8m³の用水が必要とされているため、市や鉱山側の要望のもとに県営による鉱業用水建設工事がことしの6月からはじまっております。

用水は、長木川と米代川が合流する地点の地下水をパイプで日鉱、同和、三菱の選鉱場まで送りこまれることになっており、この給水量も1日3万トンという多量の給水能力を持つことになります。

この鉱業用水はまい日

同和松峰に16,000トン()

日鉱松峰に 9,000トン

三菱松峰に 5,000トン

ずつ送水されることになり、この鉱業用水の確保で、鉱床開発も一段と進展が約束されることにもなります。

なお、工事は9月一っばいで完成する見込みでありますから、この工事の完成が大いに期待されています。

簡易保険の融資で

獅子ガ森に公営住宅

市では、いままで簡易保険の融資を受けて公営住宅や特別教室など多くの建設事業をなしてきてきました。

41年度中においても、公営住宅の建設と義務教育施設の事業に融資を受けております。

現在建築中の事業としては、獅子ガ森に24戸の住宅が11月の完成をめざして進められています。

この住宅は総工費1,855万円で建てられますが、この事業費のうち540万円は簡易保険の融資によるものです。

また、教育施設関係でも、

下川沿中学校の技術教室が252万円で建築中であり、杉沢小学校の音楽室と理科室の増築に300万円をかけそれぞれ工事が進められています。この二校の事業費のうち260万円も融資を受けております。

このほか、現在建築中の南中学校(2期工事)に対する融資を含めると、41年中に市が受ける融資額が27

40万円にもなります。

このように、郵政省簡易保険局では市町村の建設事業に対して資金を融資していただきますが、融資される額もその市町村住民のかたがたの簡易保険への契約高によってきめられることになっております。

簡易保険への加入は皆さん自身の家計の確立のためにはもちろんのこと、加入者の増加によって市の建設事業の資金も円滑になりますので、この機会に皆さんのご加入をおすすめします。

税

の相談日

毎月5の日

◎5日、15日、25日か日曜、祝日にあたるときはよく日になります。名前を明かさずに、どこの税務署でも気軽にご相談に応じます。

市長メキシコへ発つ

市長は、1966年度日本、メキシコ青少年交換事業日本青少年代表団団長として、さる8月18日、羽田空港から一路メキシコへと元気に出発しました。

このたび派遣された日本青少年団は15名で、この中には佳高等学校の細川節子さんもとくに選ばれて同行しております。

一行は、9月13日まで、メキシコの青少年団とキャンプ生活を通じて親善を深めることになっています。団長に選ばれた佐藤市長も重大な使命をまかされたわけで、いままでの外遊とはちがった真けんなおもむきで出発しました。

市長は、9月14日に帰国する予定になっていますが、メキシコでのいろんな体験などは、市長が帰庁してからこの広報紙を通じて市民の皆さんにご報告したいと考えています。

なお、市長がするす中の間は、虻川助役が市長の職務代理者として執務しております。